

## 第1回 東伏見駅周辺まちづくり懇談会 意見交換の概要

### ■連続立体交差事業に関する事項

- 【Q1】 社会資本総合整備計画に位置づけられてから都市計画事業認可までの期間は？  
⇒区間延長や鉄道構造等により期間は変わります。概ねのスケジュールがわかり次第報告します。
- 【Q2】 鉄道構造の比較設計の結果は、どのタイミングで説明がされるのか？  
⇒本区間の連続立体交差事業は、東京都事業として検討が進められており、東京都が開催する都市計画素案説明会の際に説明があると聞いています。
- 【Q3】 西武新宿線中井～野方区間が地下構造なら、当該区間が高架構造となるのは不自然ではないか？  
⇒中井駅及び野方駅において鉄道が地上に上がってくるため、高架構造になる可能性はあります。
- 【Q4】 武蔵関駅周辺まちづくり構想では、鉄道の構造形式を高架構造・地下構造のどちらを想定しているのか？  
⇒鉄道の構造についての記載はなく、踏切除去後のまちづくりの考え方を定めています。
- 【Q5】 鉄道構造は、懇談会の場で意見を出して、決めるものではないという認識で良いか？  
⇒当該区間は、杉並区・練馬区・西東京市の3自治体にまたがっており、西東京市からの要望だけで鉄道構造が決まるものではありません。
- 【Q6】 東伏見駅から西武柳沢駅までの間はどうなるのか？  
⇒東伏見駅の東西の2つの踏切が除去されます。そのため、東伏見駅から西武柳沢駅の途中で鉄道が地上になると想定しています。

### ■東伏見駅周辺地区まちづくり構想に関する事項

- 【Q7】 東伏見駅周辺地区まちづくり構想は誰が決めるのか？  
⇒東伏見駅周辺地区まちづくり構想は、懇談会に参加する皆様のご意見を踏まえ、市が策定します。
- 【Q8】 駅の発車音に対する要望や、駅周辺の電線の地中化なども議論の対象か？  
⇒議論の対象です。懇談会で出されたご意見は、例えば、発車音については西武鉄道に要望を行い、電線の地中化については所管課に確認した上で回答する等の対応を行います。
- 【Q9】 鉄道の構造は東京都が決めるため、連続立体交差事業のあり方ではなく、踏切除去後のまちづくりについて意見交換をするという認識で良いか？  
⇒そのように考えています。
- 【Q10】 昨年、台風の影響で石神井川周辺に避難勧告があったが、この内容についても懇談会での検討に含まれるのか？  
⇒検討内容に含まれます。地域の課題としての共通認識を持ち、課題に対する対応策について意見交換できればと考えています。